

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス事業)

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」三島校		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年12月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 42
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年12月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別支援をおこなっているため利用者の要望、状況に合わせた支援プログラムを組むことができるため概ね利用者からは支援内容について満足頂けていること。	・支援内容、プログラムについて支援員数（6人※非常勤含め）が少ないこともあり、ほぼ口頭で利用者の様子、支援の引き継ぎを密に行うことが出来ている。その際、必要に応じて経験のある職員から少ない職員への助言、提案等おこなうことが出来ている。	・法人設立の研究機関（「発達支援研究所」）より年間を通じて事例検討等毎月支援の質の向上のための研修が行われている。また、職員間の会話が多い事業所の風土もあり、経験の豊富な職員からの利用者の場面、状況に応じた話が得意やすい環境にあるためこれを続けていきたい。
2	・支援内容の多様さと質の維持が図られている。	・利用者に複数の職員が関わるにより多様な見立て、支援が可能になっている。また、職員の定着率が高いため利用者、保護者と職員の関係が成り立っているためそのことが質を担保していると考えている。	・職場の風通しを良さを維持、向上を図る。具体的には、職員間の意見交換しやすい場の維持と相談支援事業所等の他機関が気軽に来やすい場と認識し続けてもらえるように関係性を維持していく。
3	・法人主導による報酬改定（制度改定）に伴うシステム	・支援記録、個別支援計画の作成等の制度改定に伴う運営に必要な書式システムの導入を法人主導でおこなっているため必要な事項を漏れが無く行うことが出来ている。	・法人が大きく、他の都道府県でも児童支援事業をおこなっているため上長を通じて情報を入手することが可能。良い事例を参考にさらに充実を図ることが出来る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・建物の構造上、バリアフリーではあるが、入口が狭いため利用者の入れ替え時に若干混雑して利用者にご迷惑をかける場面がある。	・声掛け等のマンパワーで可能な限りご不快にならないようにしているが、入口の狭さは建物の構造上の要因である。	・利用者の利便性等に差しさわりのない移転物件を探している。 ・入口の混雑解消のため個人情報の漏洩に注意しつつ、利用者にお待ち頂く際、事務所の活用（お休みの職員がいるため）等おこなっていく。
2	・利用者との必要な情報のやりとり及び周知が不十分なこと。	・毎日の支援御のフィードバック時に保護者とのやりとりが出来ているが、時間に限りがあるため不十分になっている可能性がある。	・必要に応じて、支援後のフィードバック時以外の時間も電話等で児発管、支援員が保護者支援をおこなうことを再度周知していく。また、ブログ等を活用して必要な事項についての周知を進めていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」三島校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 60

回収数 42

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	9	1	0	スペースが、もう少し広いと良いかなと思います、もう少し広いスペースでも良いかと部屋によって狭い隣で運動しているので気が散るような気がする机上で取り組む活動なら良いが、粗大運動など身体を動かす活動をするのがなかなかできない。個室の方が集中しやすいと思う	スペースの狭さは、職員も感じており、移転のためも物件探しもおこなっていますが、現状見つかっておりません。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	40	2	0	0	たくさんのスタッフさんが対応いただいているなと感じました。	多様な職種の職員の配置を続けていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33	5	2	2	入り口が狭いと思う。	入口の狭さに申し訳なさを感じております。移転物件を探すことを続けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37	2	1	2		子どもの活動に合わせて可能な範囲で空間を活用しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	40	2	0	0	子供の特性や思考をよく観察、理解して頂き、細かく内容を報告して頂けるので助かります。	引き続き、保護者、本人と情報交換を行っていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	37	1	0	4		HPに公表しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	41	1	0	0	その都度、子どもの様子を話しすることが出来ており、職員と情報が共有出来ていると思う。	引き続き、保護者、本人の要望、状況の把握に努めています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	2	0	4		基本的に契約時に説明をさせて頂いております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	41	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	38	3	0	1	行く度が支援内容が変わっており、保護者の私も参考になります。	様々な支援員が関わることにより多様な支援がおこなわれるようにしております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	8	20	9	そのような機会があったら、良いと思う。特に希望していないので問題なし個別支援の為、他の子どもとは活動しない。	要望がありましたら企画していきます。
保 護 者 へ の	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40	1	0	1		基本的に契約時に説明をしています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	40	1	0	1		基本的に契約時に説明をしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	7	9	16	そのような機会があったら、良いと思う。事業所に講座などのチラシが貼ってあるのをときどき目にするが、事業所に来ない場合は知る手段がないのかなと感じる。	利用者のニーズの高い研修案内は今後ブログに掲載を行います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	41	1	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	7	1	3		ご要望がありましたら行っていますが、不十分な可能性もありますので、声掛けを増やしていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	41	1	0	0	いつも支えてもらっていると感じます	

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	8	12	18		利用者からのご要望がありましたら企画していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31	2	0	9		ご要望がありましたら行っていますが、不十分な可能性もありますので、声掛けを増やしていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	40	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	2	1	24	時々ホームページ見えています。	基本的に2回/月ブログを更新しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	37	2	0	3		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	8	2	10		基本的に契約時に説明をおこなっております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	5	2	22		定期的におこなっております。頻度は多くないですが、ブログにも掲載しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	5	0	7	玄関を施錠し、インターホンで対応するようになり、安全面が確保出来て良かったです。	ヒヤリハット報告等をもとに安全を確保していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	1	0	13		基本的に契約時に説明をおこなっております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	42	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	39	3	0	0	今日は、誰先生かなと子どもと話しながら、通っています。	通所を楽しんで頂くことが支援の基本のきと考えております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	39	3	0	0	保護者も勉強になることもあり、また、子どもの成長を見ることができ、楽しいです。こちらの提案を聞いてもらえますが、こう言った支援はどうかとアイデアを出して欲しいことも。（理由も）ほかの子どもを優先して途中から担当の先生を変更されたことがずっと気になっています。	引き続き、保護者、利用者と支援内容について情報交換をしていきます。

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス事業）

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」三島校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			教室活動スペース、入口が狭いため会社と相談の上、移転を検討する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			・段差がないためバリアフリーであるが、入口、通路が狭いという課題がある。 ・利用者のプライバシーを守るための工夫が必要である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価については現在未実施。法人として実施を検討中である。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適切な点	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			HPで公表済
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		○	今年度実績は個別支援のみであったが、保護者の要望があれば小集団をおこなう。利用者について必要な情報は相談支援事業所を通じて得ている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了が就業時間まじかの場合、翌日の支援の振り返り、共有をおこなっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		定期的に支援記録の確認、検証をおこなっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応してる。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応してる。	利用者への周知を継続しておこないます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応してる。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応してる。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		主に相談支援事業所に対して引継ぎをおこなっている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応している。	利用者への周知を継続しておこないます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		管理者が人材育成チームに参加して、研修の企画運営に関わっている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		行政等の公共機関でおこなわれる研修は掲示等で周知しています。	周知方法にブログも活用していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		利用者の状況、保護者の要望に応じて個別に対応してる。	利用者への周知を継続しておこないます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	利用者から要望がありましたら実施をします。	利用者の要望を伺っていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		事業所の所在地が商店街のため要望がありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	飲食物の提供をしておりません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			利用者への周知が不十分な可能性があるため今後周知方法を工夫します。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			